



臨床糖尿病支援ネットワーク MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

医師の働き方改革に伴う業務拡大

【当法人評議員】

公立昭和病院

櫻井 勉 [臨床検査技師]

医師の過労死を発端とした厚生労働省の「医師の働き方改革プロジェクト」が始動し、2019年度から働き方改革関連法が順次施行されました。このプロジェクトにより医療系職能団体では、それぞれの職域で可能なタスクシフト・タスクシェアをピックアップし厚生労働省、医師会との協議を重ね臨床検査技師においては実施可能な検体採取として、①医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為、②内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為、実施可能な生理学的検査として、①運動誘発電位検査、②体性感覚誘発電位検査、③持続皮下グルコース検査、④直腸肛門機能検査、さらに臨床検査技師の業務の採血、検体採取又は生理学的検査に関連する行為として、①採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為、②採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為（電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る）、③採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為、④超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為が追加されました。この法案は10月1日に施行されますが、この業務を行うためには厚生労働省指定日本臨床検査技師会技主催の講習会を受ける必要があります。（原稿作成時は新型コロナウイルス拡大防止のための緊急事態宣言により開催の目途が立っていません。）

ひとつポイントとして行えるようになる業務の中に「連続皮下グルコース検査」が明記されていることがあります。今までは解析や結果説明しかできなかったことが患者さんに装着から解析、結果説明まで一連でできるということになります。直接、医師のタスクシフトにはならないかも知れませんが少しでも貢献できるものと考えています。すでに装着も行っていた施設の方の場合は指定講習会を受講することが必須となりますのでご注意ください。これからも糖尿病療養指導に貢献できる臨床検査技師を目指したいと思います。



読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士（LCDE）は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**（5年間で10単位）を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。（「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部変更しております。）

問題 GLP-1受容体作動薬に関して誤っているのはどれか、2つ選べ。

（答えは3ページにあります）

1. 作用時間に応じ、1日2回投与、1日1回投与、週1回投与、月1回投与の製剤がある
2. 胃内容物排出抑制作用がある
3. 体重を増やさない
4. 製剤によっては1型糖尿病患者への適応がある
5. 急性膵炎がおこる可能性がある



報告

2021年度 西東京糖尿病療養指導プログラム

日時: 令和3年7月11日(日)
オンライン

第17回 西東京教育看護研修会

[当法人会員]

東海大学医学部付属八王子病院 久保 麻衣子 [看護師]

7月11日(日)、第17回西東京教育看護研修会が開催されました。コロナウイルス流行のため、昨年度は開催できなかった当研修会。今回初めてZoomでのオンライン開催となり、約200名の方が参加してくださいました。主催する私たちも、参加者の皆さんも慣れない中での開催でしたが、突然の雷雨に負けることなく無事に会を終了することができました。各ご施設お忙しいにもかかわらず、参加していただけたことを大変嬉しく思いました。

さて、今回の研修会のテーマは「ACP(AdvanceCarePlanning)」で、医師、看護師、臨床心理士、様々な分野の先生方からご講演いただきました。まず杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科 講師 近藤 琢磨先生より「ACPを意識した糖尿病診療」、続いて杏林大学保健学部 臨床技術検査科 准教授 角田 ますみ先生より「患者・家族に寄り添うACP」、午後には「糖尿病医療学から見たACP」と題し、奈良県立医科大学 特任教授 臨床心理士 皆藤 章先生よりご講演いただきました。さらに、糖尿病看護認定看護師3名より「糖尿病合併症で自己決定に関する支援症例」と題し、実際の臨床現場で出会った患者さんとのACPについての症例が提示されました。症例について参加者の皆さんとのディスカッションはチャットにて行い、たくさんの意見や感想が寄せられました。演者と同様の悩みや葛藤を抱えながら日々患者さんに寄り添っている皆さんのACPへの関心度の高さがうかがえました。3症例どの患者さんにも根気強く寄り添う看護師の姿があり、看護の力に感動する方もいたのではないのでしょうか。またコロナ禍で他施設の方々との交流が難しい中、研修会を通し、自分以外にも糖尿病看護を頑張っている人がいることを知り、力をもらえた方もいたのではないのでしょうか。研修会を通して得たACPの知識や思いを大切に、是非各ご施設で活かしてもらえたらと願います。



第17回 西東京薬剤研修会

[当法人会員] 豊島医院 深野 光司 [薬剤師]

薬剤研修会では糖尿病合併症である神経障害、腎症、網膜症、歯科領域に関して4人の先生からご講演をしていただき、49名の参加がありました。

神経障害については当法人理事の植木 彬夫先生よりご講演いただきました。神経について解剖学的に図解していただき、神経による活動電位の伝わり方の違い、神経障害のメカニズムやその成因である解糖系側副路代謝、糖化、小胞体ストレス、栄養血管障害のほか、具体的な検査方法や対症療法について学びました。

腎症については杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科の福岡 利仁先生よりご講演をいただきました。腎臓の構造と機能、腎障害の進展機序、糖尿病性腎臓病の透析リスク、治療目標、管理、多職種連携について立体的なイラストや写真をたくさん使って解説していただき、とてもわかりやすかったです。糖尿病性網膜症については杏林大学医学部 眼科の石田 友香先生よりご講演いただきました。写真や動画で網膜症の違いや手術の様子を示していただきました。糖尿病と診断されても眼科に受診していない患者が約1/4ということから保険薬局の薬剤師からも受診勧奨することが重要であることを認識しました。歯科領域については日本歯科医師会 常務理事 小玉 剛先生よりご講演いただきました。歯周病治療により局所と全身の慢性炎症が減弱し、25研究の平均ではHbA1cが0.79%低下したとのこと。また、オーラルフレイルになると身体的フレイル発症リスクが2.41倍に増加し、要介護認定も2.35倍高くなることから、多職種で連携し、オーラルフレイルを予防する必要性を感じました。

4つの講演を通じて、血糖、体重、脂質、血圧、口腔内などのトータルケアの重要性を改めて確認しました。また、オンラインならではのチャット機能を使って質問を思いついたときに入力しておくことができるので、たくさんの疑問点に答えていただくことができ、有意義な研修会となりました。

報告

2021年度 西東京糖尿病療養指導プログラム

日時: 令和3年7月11日(日)
オンライン

第5回 西東京臨床検査研修会

[当法人評議員] 公立昭和病院 櫻井 勉 [臨床検査技師]

皆さんもご存じのように2019年末からSARS-CoV2の流行により2020年はいろいろな学会や研修会が中止になったり、またWeb開催に変更になりました。2020年度の西東京糖尿病療養指導プログラムは中止せざるを得ませんでした。今年度は7月11日の日曜日に「第5回西東京臨床検査研修会」としてZoomを用いたWeb形式で開催することができました。とはいえ、世話人である私たち自身もWeb開催自体初めての経験であり、Zoomの使い方もよくわからないままのスタートでした。また今回は開催が決定してもスタッフが集まることもできず、また外部からの講師招聘もままならず、世話人の持ち回りとなり「これで良かったのか？」と考えさせられた研修会となりました。



広い部屋に数名のスタッフのみでした



事前確認もそこそこにすぐに開始

まいりました。実際に多数の不手際があり、参加していただいた受講生にはご不便をおかけしたと思います。また長時間のWeb研修に参加いただき感謝いたします。次年度は沢山の方に参加してもらえような企画を考えたいと思います。



第8回日本糖尿病療養指導学術集会

令和3年7月24日(土)~25日(日)

Web開催

[当法人会員]

むぎのめ薬局

井上 享子 [薬剤師]

2020年に予定されていた学術集会は、2021年7月24日(土)・25日(日)完全Web形式での開催となった。内容はLIVEプログラムとオンデマンドプログラムに分けられ、LIVEでは表彰式、受賞公演、特別シンポジウム、グループディスカッションなどが行われ、オンデマンドでは教育講演、CDEL活動報告、一般演題等が自由に視聴できる構成であった。

オンデマンドは会期後7月28日~8月31日にも配信され、LIVEに参加していてもそのプログラムの終了後に興味のある内容の発表に触れ直すことができるため、集合型とはまた異なる良さがあつた。グループディスカッションでは「腎症重症化予防」に参加したが、離島の医療機関に勤務する参加者の意見が聞けるなど、やはり集合型では参加しにくい環境にある方々と交流できたのはWeb開催ならではの良さである。しかし、時間の拘束があるため、グループディスカッションがこれからというところでまとめに入らなくてはならなかったのは残念であった。

CDEmeetingでは各CDEL認定機構のブロック長が集まった。そこで面白かったのは合格者1年生が研修会の開催担当をする所があつたことである。運営に携わりながら指導者としての一歩も始まるのである。また大学で使っているMoodleという学習システムの利用により、正解をしなないと先に進めないeラーニングの構築をした所もあつた。CDELとCDEJの協力ではなく共同の活動という意見も印象に残つた。

学術集会は1000人を超える参加者を得て盛況に終えた。集合型の開催が可能となってもハイブリッド型で行われる可能性があることを次年度大会長は語っていた。

読んで
単位を
獲得しよう答え 1, 4 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説 GLP-1受容体作動薬は、

1. × 作用時間に応じ、1日2回投与、1日1回投与、週1回投与の製剤がある。
2. ○ 血糖値に応じた膵β細胞からのインスリン分泌促進作用に加え、グルカゴン分泌抑制、胃内容物排出抑制作用、食欲抑制作用など、多様な作用を有する。
3. ○
4. × インスリン依存状態(糖尿病性ケトアシドーシスや1型糖尿病患者など)への適応はない。
5. ○ 頻度は少ないが、急性膵炎が起こる可能性がある。胃腸障害が発現した場合、急性膵炎の可能性を考慮し、必要に応じて画像検査などによる原因精査を考慮する。急性膵炎が発現した場合は、投与を中止し、再投与しない。

研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

 第22回 西東京糖尿病療養指導士養成講座

 申込必要

期 間：2021年9月10日（金）開講 以降12月14日（火）第14講義まで実施

時 間：19:00～20:30（開場18:40）

参加方法：Zoomにて開催いたします

受講料：当法人会員 12,000円 / 一般 20,000円（全講義分として）

申 込：当法人ホームページ <https://www.cad-net.jp/> よりお申し込みください（10/11締切）

※詳細は、「新着情報」の「第22回西東京糖尿病療養指導士養成講座のご案内」をご確認ください

 オンライン

【聴講制度のご案内】 聴講制度によりLCDE認定者も受講可能です。養成講座を受講されると40単位を上限とし、1講義出席につき4単位取得できます。マイページ内の聴講制度に関する掲示より、Web決済にて受講料をお支払いください。※受講料は、全講義分一括納入のみとなります。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：1講義につき4単位

 第38回武蔵野糖尿病研究会Webセミナー

 申込必要

開催日：2021年10月9日（土）14:50～16:30

参加方法：Microsoft Teamsにて開催いたします

申 込：プログラムに記載のURLよりお申し込みください（10/7締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

 参加費無料

 オンライン

 西東京CSII普及啓発プロジェクト 第21回研修会

 申込必要

テーマ：『本邦発パッチポンプのゆくえ～デバイスの現状とバージョンアップしたCGMデバイス』

開催日：2021年10月19日（火）19:20～21:00

参加方法：Zoomにて開催いたします

参加費：当法人会員 1,000円 / 一般 1,500円

申 込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（10/19締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

 オンライン

 第7回 薬剤師による既往歴妊娠糖尿病を考える会～糖尿病発症予防のために～

 申込必要

開催日：2021年11月5日（金）19:30～21:00

参加方法：Zoomにて開催いたします

参加費：当法人会員 1,000円 / 一般 2,000円

申 込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（10/31締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

 オンライン

 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 第71回例会

 申込必要

テーマ：『糖尿病治療薬 update2021～新時代の経口血糖降下薬～』

開催日：2021年12月3日（金）19:20～21:00

参加方法：Zoomにて開催いたします

参加費：当法人会員 無料 / 一般 2,000円

申 込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（12/3締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

☆日糖協療養指導医取得のための講習会

 参加費無料

 オンライン

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局
〒185-0012
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802
TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
<https://www.cad-net.jp/>
Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



先日、書店でふと目に留まった本がありました。首都感染という本で、内容は中国で、人→人感染する鳥インフルエンザが猛威をふるい、パンデミックを起こすという、何とも今的な話です。しかしここからは現政権と違い、時の総理大臣がとにかく毅然として政策を打ち立て国を救うというもので、改めてリーダーシップの大切さを感じました。皆様もこの秋の夜長、読書でもいかがでしょうか。（広報委員 浅海 隆司）